

平成 29 年 (2017 年) 3 月 15 日 <No-14>

長野県松本家畜保健衛生所  
〒390-0851 松本市島内西川原 6931  
TEL:0263-47-3223 FAX:0263-47-0101  
E-mail:matsukachiku@pref.nagano.lg.jp  
中信家畜畜産物衛生指導協会  
TEL:0263-47-6789

# かほだより

牛白血病ウイルス (BLV) 及び牛ウイルス性下痢ウイルス (BVDV) の  
まん延防止にご協力ください

## 公共牧場入牧前に検査とワクチン接種！

公共牧場を介した BLV 及び BVDV のまん延防止を図るため、「牛白血病抗体が陽性が陰性が判明していること」及び「BVDV が陰性であること」並びに「放牧前に I BR 5 混又は 6 混ワクチンを接種済みであること」を入牧条件としている牧場があります。

(過去に BVDV 検査を実施し、持続感染牛 (PI 牛) でないことが確認されている場合は、検査が必要でない場合があります。詳細は牧場管理者にご確認下さい。)

検査の推進等にご理解とご協力をお願いします。

昨年に引き続き、中信家畜畜産物衛生指導協会が放牧牛等を対象とした BLV 及び BVD 検査事業を実施しますのでご活用下さい。

### 平成 29 年度中信衛指協による検査事業の概要

(検査申込受付開始は H29. 4. 3)

#### 1 BLV

- ・検査対象牛：公共牧場放牧予定牛、BLV 浸潤農場<sup>\*1</sup> の陰性牛・未検査牛
- ・検査手数料：415 円/頭【免疫学検査 (830 円/頭) の半額補助 (国の助成事業を活用)】  
平成 29 年度に放牧予定の牛については、3 月以降に採血した血液を検体として下さい。  
検査結果が出るまでに 2 週間の余裕をみてください。

#### 2 BVDV

- ・検査対象牛：公共牧場放牧予定牛
- ・検査手数料：400 円/頭  
検査結果が出るまでに  
4 月～7 月は 2 週間  
8 月～H30. 3 月は 1 ヶ月間 の余裕をみてください。
- ・結果は中信衛指協から通知されます。(検査機関は松本家保)
- ・なお、「BLV」と「BVDV」は同一の血液で検査が可能です。  
採血は臨床獣医師 (中信衛指協指定獣医師) に依頼してください。

※1 牛群内の BLV 抗体陽性牛が概ねわかる農場

問い合わせ先：防 疫 課



しあわせ信州

○ワクチン接種で感染を予防しましょう

## 牛ウイルス性下痢・粘膜病（BVD-MD）ワクチンプログラム

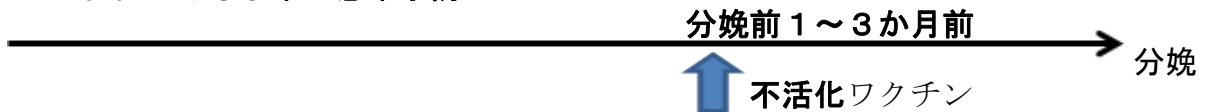
**【搾乳牛及び繁殖雌牛】**・・・年1回の不活化ワクチンの接種が基本です

\*接種時期は予防目的により異なります

- 1 農場全体の感染防止・・・年1回不活化ワクチンの一斉接種
- 2 P I 牛の生産予防(ワクチンによるP I 牛生産の予防効果は70~80%程度です)  
毎年 種付け前1~2か月

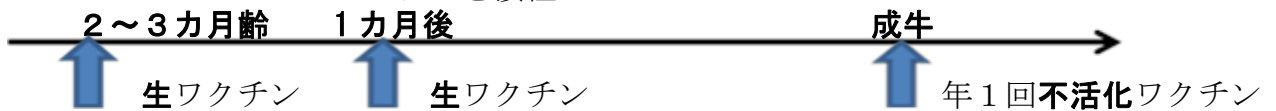


- 3 生まれてくる子牛の感染予防



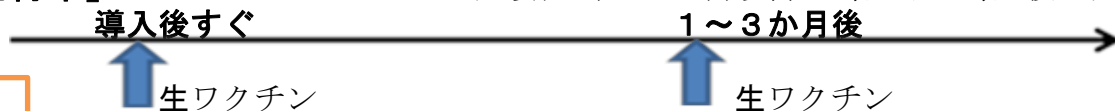
**【繁殖候補牛】**

自家育成の場合・・・子牛の時期に生ワクチンを2回、成牛になったら必ず年1回不活化ワクチンを接種



導入の場合・・・導入後すぐに不活化（妊娠をしていなければ生）ワクチン、その後は年1回不活化ワクチンを接種

**【肥育牛】**・・・生ワクチンを2回接種（10か月齢以降の導入牛は導入後1回でOK）



注

**妊娠牛には必ず不活化ワクチンを！**

子牛の移行抗体保有期間に接種した場合は、ワクチンの効果が得られない場合があります

上記は松本家保が推奨するワクチンプログラムです。実際にワクチンを接種する際は診療獣医師に相談して下さい。

## BVD-MDを含むワクチンの種類と中信衛指協の注射料金

	BVD-MD	IBR	PI3	RS	AD7	Hs	1頭当たり 注射料金	妊娠牛 への接種
IBR 5 混生 (株)微研)*2	1型生	生	生	生	生		1,900円	×
IBR 5 混生^E (株)微研)	1型生	生	生	生	生	不	2,300円	×
IBR 5 混不活化 (共立製薬)	1,2型*1不	不	不	不			1,800円	○
IBR 6 混不活化 (株)微研)	1,2型不	生	生	生	生		2,150円	○
IBR 6 混生 (株)微研)	1,2型生	生	生	生	生		2,150円	×

IBR：牛伝染性鼻気管炎、PI3：パラインフルエンザ3型、RS：牛RSウイルス病

AD7：牛アデノウイルス病7型、Hs：ヘモフィルス・ソムニ

\*1：BVD-MDには1型と2型があり、1型に対する抗体では2型が防げない場合があります。

\*2：株式会社 微生物化学研究所(京都微研)